

平成30年4月現在

体育学研究科修士課程体育学専攻担当教員研究領域等一覧

① 研究指導担当教員

区分	氏名(職名)	担当授業科目	研究領域
研 究 指 導 担 当 教 員	赤 嶺 卓 哉 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスサイエンス特講 ・ヘルスサイエンス特講演習 (スポーツ・リハビリテーション 医学) ・スポーツ医学特講 ・スポーツ医学特講演習 ・スポーツ科学リテラシー特講 	<p>スポーツ医学における整形外科の疾患の予防と運動療法について研究する。とくに腰痛・関節疾患、リウマチ性疾患、骨粗鬆症例に対する水中リハビリテーション法、身体障がい者スポーツ、運動と骨代謝について攻究する。また、筋硬度(柔軟度)・体組成に与える運動効果、PNF(神経筋促通)リハビリ・トレーニングなどについても研究を進める。</p>
	瓜 田 吉 久 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコーチング学特講演習 (陸上競技(フィールド)) 	<p>陸上競技における効果的な指導方法について研究を推進している。また、陸上競技を中心に各種目に必要な体力獲得のためのトレーニング方法並びに手段について研究を行っている。</p>
	荻 田 太 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ生理学特講 ・スポーツ生理学特講演習 ・スポーツ科学リテラシー特講 ・スポーツ科学ナレッジ・ マネジメント演習 	<p>さまざまな時間、強度におけるスポーツ活動時のエネルギー代謝を明らかにし、その代謝特性に基づいた効果的な高強度トレーニング法(低酸素トレーニングを含む)の開発について取り組んでいる。また、近年では低圧低酸素環境に対する生体適応を利用したメタボリックシンドロームの危険因子改善のための効果的トレーニング法についても検討している。</p>
	金 久 博 昭 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動処方論特講 ・運動処方論特講演習 ・トレーニング科学特講【TSC】 ・トレーニング科学特講演習【TSC】 ・コーチング学特講【TSC】 ・コーチング学特講演習【TSC】 ・スポーツ科学リテラシー特講 	<p>日本人の筋のトレーナビリティについて、年齢、性、生活環境・トレーニング環境との関連で検討しており、ここ数年は発育期におけるスポーツ活動が筋の形状と機能に及ぼす影響、高齢者におけるフィジカルトレーニングの効果に関する研究を主に行っている。また、スポーツトレーニングが身体全体における筋発達のバランスおよびパフォーマンスに及ぼす影響について、トレーニング科学の視点からだけではなく、バイオメカニクス的研究手法も加味したアプローチを試みている。</p>
	北 川 淳 一 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコーチング学特講演習 (体操競技) ・スポーツ科学ナレッジ・ マネジメント演習 	<p>体操競技の基本技術とその指導法、コーチングに必要な運動観察をビデオ映像を用いて、自己観察と他者観察の両面から研究している。また、コンピュータで動作解析を行い新技の開発や技の習熟を高めるための合理的なトレーニング方法を研究している。</p>
	金 高 宏 文 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコーチング学特講 ・スポーツパフォーマンス学特講 ・スポーツパフォーマンス学特講演習 ・スポーツ科学リテラシー特講 	<p>スポーツ運動における「技能の習得」や「動作の改善」時に生じる「コツ・カン」や「フォーム」の変化について調査・測定している。現在は、各スポーツ種目における初心・初級者のコツや技術、その指導・トレーニング方法を探求している。専門はスポーツ運動学及びトレーニング学で、スポーツバイオメカニクスと指導者育成・再研修のカリキュラム論についても取り組んでいる。</p>
	竹 下 俊 一 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツマネジメント論特講 ・スポーツマネジメント論特講演習 ・スポーツマネジメント論特講【TSC】 ・スポーツマネジメント論 特講演習【TSC】 ・スポーツ科学リテラシー特講 	<p>スポーツに関するビジネスやスポーツ施設産業特にゴルフ場経営に関わった産業を研究分野としている。また人文社会科学の研究手法論をベースに体育の専門とは何かというテーマの研究も続けている。</p>
	中垣内 真 樹 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスサイエンス特講 ・ヘルスサイエンス特講演習 (健康運動学) ・スポーツ科学リテラシー特講 	<p>中高齢者を対象として健康づくり、介護予防のための運動の実践方法やその効果について研究している。地域での効果的な運動の普及を目指して運動プログラムを作成し、実際に地域等で実践指導をしてその効果を検証しながら運動の有用性や意義を明らかにする。</p>
	藤 井 康 成 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスサイエンス特講 ・ヘルスサイエンス特講演習 (スポーツ・リハビリテーション 医学) 	<p>スポーツ医学における整形外科の疾患の予防と運動療法について、特に肩・肘の上部、膝・足の下部関節のスポーツ障害を中心に、その病態や治療法、予防法に関して研究を行う。スポーツ選手の身体機能を評価するメディカルチェックを通して、体の柔軟性やアライメントの評価法から障害予防のためのトレーニング法などについても研究をすすめる。</p>
前 田 明 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツパフォーマンス学特講 ・スポーツパフォーマンス学特講演習 ・スポーツバイオメカニクス特講 ・スポーツバイオメカニクス特講演習 ・スポーツバイオメカニクス 特講【TSC】 ・スポーツバイオメカニクス 特講演習【TSC】 ・スポーツ科学ナレッジ・ マネジメント演習 	<p>運動技術の習得を力学的に得るためにモーションキャプチャシステム、ハイスピードカメラ、フォースプレート等を用いてバイオメカニクス的に動作を分析する。競技力向上に関するトレーニング効果をバイオメカニクスの見地から考察する。</p>	

区分	氏名(職名)	担当授業科目	研究領域
研 究 指 導 担 当 教 員	森 司 朗 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ心理学特講 ・スポーツ心理学特講演習 ・スポーツ心理学特講【TSC】 ・スポーツ心理学特講演習【TSC】 ・スポーツ科学リテラシー特講 	1) 幼少年期の心身両面からの運動発達 2) 運動認知メカニズムや運動学習のプロセスなどの理論的な研究及びメンタルトレーニングや認知トレーニングへの応用 3) コミュニティ心理学的アプローチを通して自閉症児の治療教育などの実践的研究 4) 脳内神経連絡経路などの基礎研究 以上の4つの方向から主に研究を行っている。
	安 田 修 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスサイエンス特講 ・ヘルスサイエンス特講演習 (スポーツ・リハビリテーション 医科学) ・スポーツ医科学特講 ・スポーツ医科学特講演習 	ミトコンドリアは生体のエネルギーの殆ど全てを生産し、生体の活動性や老化を左右する重要な細胞内小器官である。運動や骨格筋量がミトコンドリア機能に与える影響に関しての生物化学的な研究に取り組んでいる。また骨格筋量が生体の心臓、腎臓の機能や老化に与える影響について血液パラメーターや分子生物学的手法を用いた研究を行っている。
	山 田 理 恵 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ史・運動文化論特講 ・スポーツ史・運動文化論特講演習 ・スポーツ史・運動文化論特講【TSC】 ・スポーツ史・運動文化論 特講演習【TSC】 ・スポーツ科学リテラシー特講 ・スポーツ科学ナレッジ・ マネジメント演習 	日本とドイツの場合を中心に、固有の伝統的スポーツや身体運動をめぐる諸現象を比較・検討し、スポーツ文化の伝統性や特性などについて歴史的、社会的、民俗学的考察を行っている。
	山 本 正 嘉 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング科学特講 ・トレーニング科学特講演習 (トレーニング科学) ・スポーツパフォーマンス学特講 ・スポーツパフォーマンス学特講演習 ・スポーツ科学ナレッジ・ マネジメント演習 	スポーツパフォーマンスの制限要因となる瞬発力、持久力、疲労、回復能力などを改善するためのトレーニングやコンディショニング法に関する実践的な研究。各種スポーツにおける専門体力やパフォーマンスの測定と評価に関する研究。低酸素(高所)環境を利用したトレーニングの研究。登山やクライミングなど、アウトドアスポーツの運動生理とトレーニングに関する研究。
	吉 武 裕 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツ学特講 ・生涯スポーツ学特講演習 ・スポーツ科学リテラシー特講 	①高齢者の体力および高次生活機能の加齢変化、②高齢者が自立した生活を営むのに必要な体力水準や身体活動水準、および③日常の身体活動測定機器の研究・開発についての研究を行っている。
	高 井 洋 平 (准教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング科学特講 ・トレーニング科学特講演習 (トレーニング科学) 	発育期の子ども、高齢者およびスポーツ選手を対象に、身体組成、筋機能および運動能力におけるトレーナビリティに関する研究を、運動生理学およびバイオメカニクス的手法を用いて行っている。
	高 橋 仁 大 (准教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツパフォーマンス学特講 ・スポーツパフォーマンス学特講演習 ・スポーツコーチング学特講演習 (テニス) ・スポーツ科学リテラシー特講 	スポーツにおける戦略・戦術分析のためのゲーム分析ならびにPerformance Analysisを行っている。特に映像を用いた分析ならびにフィードバック手法、またゲーム分析を基にしたゲーム評価に関する研究を進めている。これらの研究が実験室的研究で終わることなく、スポーツの実践場面に貢献できるような、フィールドでの実践的活動も重点的に行う。
	中 本 浩 揮 (准教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング科学特講 ・トレーニング科学特講演習 (メンタルトレーニング論) 	スポーツの熟達化をテーマとし、優れた競技者の視覚システムおよび予測能力と運動修正能力といった知覚・認知技能の特徴やその獲得方法について、心理物理学、生理心理学的手法を用いて研究を行っている。
	藤 田 英 二 (准教授)		アスレティックトレーナーの専門領域であるアスレティックトレーニング、および高齢者の健康づくりについて研究を行っている。アスレティックトレーニングでは、特にスポーツによる外傷および障害予防に関するフィジカルコンディショニングや、そのトレーニング法に関して取り組んでいる。高齢者の健康づくりでは、健康高齢者から低体力の虚弱者まで幅広い層を対象とした運動の手法とその効果について研究している。
	宮 本 直 和 (准教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体科学論特講 ・身体科学論特講演習 (生体ダイナミクス) ・スポーツ科学リテラシー特講 	身体運動の駆動源である骨格筋の生体計測に関する研究を指導する。特に、骨格筋・腱組織の形態的特性と機能的特性に関する研究や、高い身体運動パフォーマンスを発揮するための筋・腱の形態的・機能的特性を効率的に活かす神経・筋活動に関する研究を行っている。
吉 武 康 栄 (准教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体科学論特講 ・身体科学論特講演習(体力科学) 	意思通りに四肢の動作をコントロールする神経・筋制御機能の解明を第1テーマとし、トレーニング、不活動、加齢などの環境変化に対する適応について生理学的研究を行っている。また、工学的手法を用いた統合的筋力トレーニングの開発や電気生理学的手法を用いた筋疲労動態の解明に取り組んでいる。	

区分	氏名(職名)	担当授業科目	研究領域
研究指導担当教員	萩原 悟一 (講師)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツマネジメント論特講 ・スポーツマネジメント論特講演習 ・スポーツマネジメント論特講【TSC】 ・スポーツマネジメント論特講演習【TSC】 	「多くの人々にスポーツに傾倒(する・みる・支える)してもらうためにはどうすればよいのか」を主なテーマに行動科学や社会心理学の理論的背景を援用しながら、その行動プロセスを読み解くことを研究している。また、欧米と日本の国際比較から、わが国のスポーツ実施者の特性を明らかにすることを研究している。
	與谷 謙吾 (講師)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体科学論特講 ・身体科学論特講演習(身体機能論) 	外部刺激に対する身体の反応パフォーマンスについて、時間的側面(反応時間)から中枢(神経系)や末梢(筋系)の時間要素に区分して評価し、各系でのトレーナビリティ等について研究を行っている。

② 授業担当教員

区分	氏名(職名)	担当授業科目	研究領域
授業担当教員	添嶋 裕嗣 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育学特講 ・健康教育学特講演習 ・スポーツ科学ナレッジ・マネジメント演習 	運動・スポーツによる健康維持・増進や生活習慣病予防に関わる要因について、行動医学の立場から心理社会的・身体的要因を含め多面的に研究している。最近のテーマは、質問紙法を用いた大学生の主観的健康状態の分析、酸化ストレスやバイオマーカー測定により高気圧エア・チェンバー入室効果を検討することなどである。
	濱田 幸二 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコーチング学特講演習(バレーボール) 	バレーボールのゲーム分析、主として攻撃戦術のパターン化と守備戦術のシステム化のために、データ蓄積と解析を重ねている。この過程から戦術トレーニングの方法開発を進め、コーチング現場へのフィードバックと戦術構造から考えられるチームビルディングを検討している。
	濱田 初幸 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・武道指導論特講 ・武道指導論特講演習(柔道) 	嘉納治五郎思想を探究、柔道を通じた教育活動を実践し、武道による人間形成論(武道的社会化論)を構築する。また、柔道の国際化における現状と課題、競技力の向上、指導法、障害者の柔道療法など様々な視点から考察し検討する。
	前阪 茂樹 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・武道指導論特講 ・武道指導論特講演習(剣道) ・武道論特講 ・武道論特講演習 	<p>武道(特に剣道)を単なる「競技」ではなく、「日本の伝統的運動文化」という視座にたち、武道について歴史性・文化性などを俯瞰し、指導論へと発展させていく。</p> <p>特に、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 古伝書等に記述されている内容の吟味と現代的解釈。 2. 武道修練の構造の理解と「師弟同行」の精神に基づく実践・検証。 <p>などを検討・確認しながら、「修証一如」の修行論・指導論を展開する。</p>
	前田 博子 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スポーツ論特講 ・コミュニティ・スポーツ論特講演習 	<p>スポーツに関わるさまざまなトピックについて、社会学的手法を用いて研究を行っている。</p> <p>主な題材として、①地域スポーツクラブのボランティアに関する研究、②フットボールの社会学的研究、③ジェンダー研究</p>
	森 克己 (教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ法・倫理特講 ・スポーツ法・倫理特講演習 ・スポーツ史・運動文化論特講【TSC】 ・スポーツ史・運動文化論特講演習【TSC】 	スポーツは「世界共通の人類の文化」(スポーツ基本法前文)である。また、「文化」とは、「人間が自然に手を加えて形成してきた物心両面の成果」(広辞苑)のことである。日本で20数年前に学会が設立されて本格的に研究が開始されたスポーツ法学は従来日本の実定法学が対象としてこなかった「文化」を対象とする新しい法学であると認識されている。スポーツと法に関わる人類学的な問題について、その歴史的な背景を踏まえ、スポーツ法学的な手法を用いて考察している。
	北村 尚浩 (准教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ社会学特講 ・スポーツ社会学特講演習 ・スポーツ社会学特講【TSC】 ・スポーツ社会学特講演習【TSC】 ・スポーツ科学リテラシー特講 ・スポーツ科学ナレッジ・マネジメント演習 	スポーツを中心としたレジャー・レクリエーションの社会科学的な研究を主要研究領域とし、生涯にわたるスポーツ・ライフスタイル形成の視点から、特に学校での教科体育や運動部活動をはじめ、スポーツ少年団や地域スポーツクラブなどにおける青少年スポーツのあり方や、レジャー・レクリエーションの社会的意義について検討している。
	竹中 健太郎 (准教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツパフォーマンス学特講 ・スポーツパフォーマンス学特講演習 ・武道指導論特講演習(剣道) 	我国発祥の伝統運動文化である武道(剣道)において、その競技性と文化性の共存に向けたコーチングの探究、構築を目指す研究を推進している。競技力向上の要因、あるいは技術習得の効率性についての実践的な検証と並行し、剣術が現代の剣道に見られる運動形態に発展する過程で伝承されてきた精神性を追求する。競技の発展と伝統文化の継承の二軸の視点から、後世への伝承の方法論について検討している。

区分	氏名(職名)	担当授業科目	研究領域
授 業 担 当 教 員	中村 夏実 (准教授)	・スポーツコーチング学特講演習 (海洋スポーツ) ・スポーツ科学ナレッジ・ マネジメント演習	海洋スポーツ種目(特にボート、カヌー)における水上パフォーマンスの評価方法や総合的な競技力の評価体系の確立に取り組みながら、国際的な競争力の獲得を目指すユニバ世代の体力的・技術的目標の設定と目標達成のためのトレーニング方法を探求している。 一方で、海洋スポーツ全般の心身への健康増進効果のエビデンスの蓄積に取り組んでいる。
	松村 勲 (准教授)	・スポーツコーチング学特講演習 (陸上競技(トラック))	陸上競技の中長距離走を中心に、そのトレーニング方法や評価方法、ならびにコーチング方法について研究を進めている。また、スポーツ選手のコンディション評価ならびにコンディショニングについての研究も行っている。
	イスラム モハ モド モニル (准教授)	・ヘルスサイエンス特講 ・ヘルスサイエンス特講演習 (ヘルスサイエンス)	1) わが国における地域在住の健康な高齢者から施設入所している高齢者を対象に介入運動に関する研究を行っている。今後は発展途上国の高齢者の日常生活における身体活動量の測定とともにその人たちの身体活動量を高める方法に関する研究を行う予定である。 2) 発展途上国の上水と下水問題解決法(雨水利用及びサニタリートイレ利用など)に関する研究を行っている。
	吉田 剛一郎 (准教授)	・運動生化学・分子細胞生物学特講 ・運動生化学・分子細胞生物学 特講演習 ・スポーツ栄養学特講 ・スポーツ栄養学特講演習 ・スポーツ科学ナレッジ・ マネジメント演習	運動負荷にともなう生体内代謝変化について検討を行っている。栄養素の異化によるエネルギー産生および疲労をテーマとし、その一つとして脂肪酸代謝のコファクターであるカルニチンの末梢および中枢におけるはたらきを検討している。
	幾留 沙智 (講師)	・トレーニング科学特講 ・トレーニング科学特講演習 (メンタルトレーニング論)	パフォーマンス向上に関連する内容として、運動の素早い修正方略及び修正メカニズムの解明、練習の質を高める心理特性の解明に向けて実験法や質問紙調査法を用いて研究を行っている。またパフォーマンス発揮に関連する内容として、メンタルトレーニングの効果検証といった実践研究に取り組んでいる。
	小森 大輔 (講師)	・スポーツコーチング学特講演習 (陸上競技(フィールド))	陸上競技における効果的な指導方法や跳躍種目で要求される体力要素について研究を進めている。 その中でも、リバウンドジャンプや立五段跳等のパフォーマンスと関係性のある能力を向上させるためのトレーニング方法について探求している。
	坂中 美郷 (講師)	・スポーツコーチング学特講演習 (バレーボール)	バレーボールにおけるパフォーマンスの向上を目的とした練習方法、コーチング方法、チームビルディングについて研究を行っている。また、選手個々人のパフォーマンスと、メンタルコンディションや身体コンディションとの関わりについて研究を進めている。
	塩川 勝行 (講師)	・スポーツコーチング学特講演習 (サッカー)	サッカーの育成年代における技術、戦術的なトレーニング、コーチングの研究及びサッカーにおけるフィジカルコンディションの検討を行っている。 また、試合の映像編集・分析を基に、攻撃戦術、守備戦術を考察し、競技力向上に結びつく実践的なトレーニング方法・コーチング法を検討している。
	隅野 美砂輝 (講師)	・スポーツマネジメント論特講 ・スポーツマネジメント論特講演習 ・スポーツマネジメント論特講【TSC】 ・スポーツマネジメント論 特講演習【TSC】	主にプロスポーツに関するスポーツ経営学やスポーツマーケティングについて研究している。その中でもスポーツファンを対象に消費者行動研究の手法を援用し、その行動の解明に取り組んでいる。
	角川 隆明 (講師)	・スポーツコーチング学特講 ・スポーツコーチング学特講演習 (水泳) ・スポーツ科学ナレッジ・ マネジメント演習	水泳競技を対象に、バイオメカニクスや運動生理学の観点からトレーニングや泳技術、パフォーマンス向上に関する研究を行っている。また、各種センサや画像分析を用いてヒトの水中動作を分析し、推進力や抵抗力といった身体に働く流体力を定量的に評価する方法論の確立や、身体周りに生じる不規則な水の流れを解明するための研究に取り組んでいる。
三浦 健 (講師)	・スポーツコーチング学特講演習 (バスケットボール)	球技スポーツにおける技術面、戦術面、試合の運営等に焦点を当て、実践活動に直接寄与する知見を、数値データや画像データを提示することにより、「実践事例研究論文」として作成する方法論を用いた研究を行っている。	